

研究主題 「みんながもれなく」学び合う授業づくり ～協同学習による授業改善～

1 どのように取り組んできたか

本校は、人権・同和教育の視点での集団づくりに加え、4年前より協同学習による授業改善に取り組んできた。各年度の研究のポイントは次の通りである。

- 平成25年度 1・2年生の机の配置をコの字型。A4版A-D各教室に常備。
平成26年度 全学年、コの字型。「1時間に1回はグループ学習」が合い言葉。
平成27年度 学び合いを促進する教師の声かけについて研究。「つなぐ・広げる・促す言葉」と「見捨てない言葉」
平成28年度 深い学びに導く学習課題を研究。「ジャンプの課題」の要件を抽出。
平成29年度 授業改善の継承につながる授業観察方法の模索。



▲共有の課題に楽しく取り組む

2 授業改善を継続し、継承するために

教職員の異動と若年教員の増加を前提として、授業改善の気風を定着させ、協同的な授業の方法を継承するために取り組んだことを示す。

○教員の意識改革のために

- 【学校課題研修】～なぜ、本校生徒にとって進路保障が重要なのか等、学校課題を理解する研修
【生徒理解研修】～生徒がどのような課題をもっているのか等、個々の生徒の現状を知る研修
【スタートアップ研修】～協同学習の基本を学ぶ導入研修であり、共通して実行する内容を申し合わせる研修
【公開授業研修】～全員、年4回授業を地域や他校教員に公開することで、教員の意識を高める研修

○継承のために

- ・研修時間の確保～毎週月曜日の部活動を中止して、各種研修を実施
・多様性の確保～教科の枠を越えたグルーピングで研究協議その他の研修を実施
・授業研究の工夫～生徒理解の視点が盛り込まれた観察シートを使用した観察記録
・指導案の工夫～ポイントを絞った授業デザイン形式へ

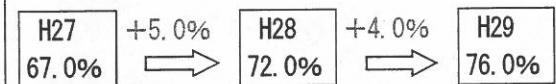


▲本校5年目の教員が1年目教員の道徳を参観

3 追跡調査による授業改善の検証

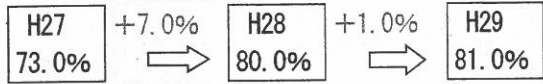
(1) 学年単位で入学から卒業まで追跡し、成果を検証する。

Q 少人数の班で学習するのは楽しいですか？



[7月 協同学習アンケート(生徒用)より]

Q 授業中、分からないところは友だちに聞くことができますか？

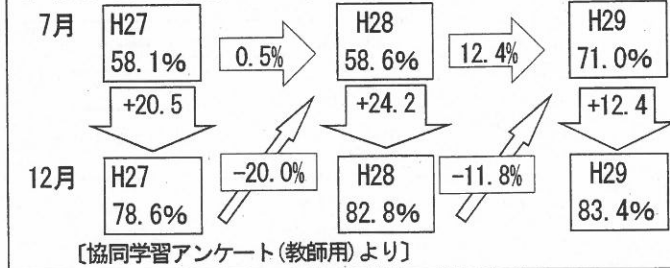


[7月 協同学習アンケート(生徒用)より]

○「学び合い」の指標として、「グループ学習の楽しさ」や「友だちに訊ねる」項目を重視している。

(2) 「教員の意識の変容」を年内比較・経年比較から検証

Q ほとんどの授業でペア学習や班学習が行えていますか？



[協同学習アンケート(教師用)より]

○年内比較 毎年7月と比べ、12月には向上するのは、赴任した教員にも授業改善の意識が浸透するからといえる。

○経年比較 本年度が他の年度より高いのは、上記2の教員の意識を高めるための研修を年度当初から、目的を明確にして実施したこと、また、研修の時間を確保したこと等の成果と考えられる。

(3) 卒業後の追跡調査による検証

高等学校と連携して、本校の卒業生に聞き取りやアンケートを実施。授業改善の取組が高校生活でどのように生かされているのか、また、中学校時代の授業を振り返って今どう感じているのかなどについて調査・分析する。これにより、検証に多面性を持たせるとともに、授業改善に取り組む教員の意識につなげる。

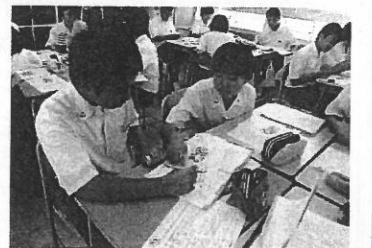
研究主題 生徒の学習意欲を高めるための授業づくり ～「できた」「わかった」が実感できる協同学習を目指して～

1 本年度の重点目標

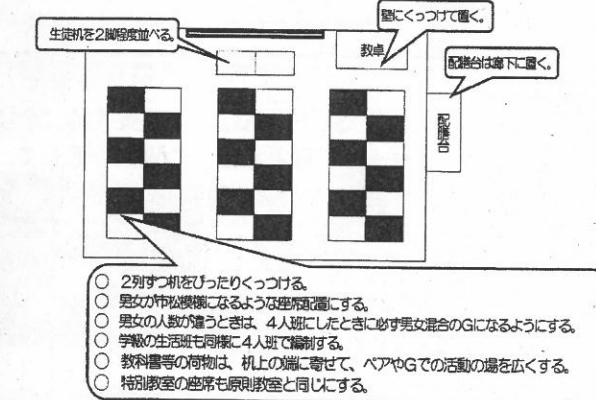
- (1) 自らの特性を理解するとともに、適性に応じた進路計画を立て、粘り強く努力する生徒を育成する。
(2) 基礎的・基本的学力の定着を図るとともに、思考力、判断力、表現力を高める指導の工夫に努める。
(3) 望ましい生活習慣を確立するとともに、規範意識を高め社会性を育成する。
(4) 体験的学習や部活動を推進し、自主性、社会性、気力・体力の増進を図る。
(5) 健康・安全の意識を高めるとともに、基礎体力の向上を図る。
(6) 全校で取り組む人権・同和教育、及び特別支援教育を推進する。

2 実践内容

- (1) 校内研修
現職教育(月1回)
現職教育推進委員会(月1回)
現教だより(月1回)
校内公開研究日(年4回)
授業研究週間(学期1回)
(2) 環境整備



(3) 授業改善・指導法の工夫

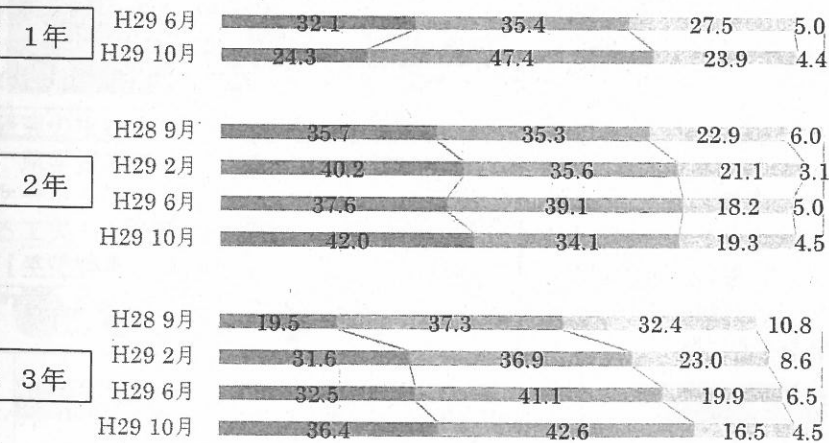


木太中 協同学習の約束

- 1 私語はしません。
2 机をぴったりくっつけます。
3 友達が「教えて」と言ったら教えます。
4 「教えて」と言われたら、最後まで教えます。
5 分からないことをそのままにしません。

3 成果

生徒対象の授業に関するアンケートより 「ペアやグループの活動で自分の考えが深まった。」



4 課題・今後の取組

生徒が授業の中で、「考えたい。」「もっとわかりたい。」と思えたり、グループで追究・探究してこそ解決につながったりするような難易度の高い課題を授業に取り入れていく必要がある。